20

## 令和7年度 中央畜産技術研修会実施計画

専門

## 【 食肉流通 】

1 開催期日 令和8年2月3日(火)~2月6日(金) 4日間

2 講義日程		
月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
2月3日 (火)	13:10 ~13:30	開講式
	13:30	食肉流通の基礎知識
	$\sim$ 15:00	畜産局 食肉鶏卵課 食肉流通班
		係長 佐野 光
	15:15	食肉流通と関係法規
	~16:45	全国食肉事業協同組合連合会 専務理事 木村 元治
2月4日	8:45	食品衛生システムによる食肉センターの衛生管理
(水)	$\sim$ 10:15	麻布大学   獣医学部   獣医学科   公衆衛生学第二研究室   教授   森田   幸雄
	10:30	食肉処理施設を巡る動向
	~12:00	公益財団法人日本食肉生産技術開発センター
		専務理事 木下 良智
	13:00	食肉加工の基礎知識
	~14:30	公益社団法人全国食肉学校  東森珊東学校長  小原 和仁
	14:45	専務理事学校長 小原 和仁 食鳥流通の基礎知識
	$\sim 15:55$	長馬加州の基礎が職   - 畜産局 食肉鶏卵課 食肉需給対策室 鶏卵食鳥班
	10.00	
	16:10	牛肉輸出の取組
	$\sim 17:20$	全国農業協同組合連合会 本所
		輸出対策部 統括課 横山紗也香
2月5日	8:45	食肉衛生学概論
(木)	$\sim$ 10:15	麻布大学 獣医学部 獣医学科 公衆衛生学第二研究室
	10:30	教授 森田 幸雄 食肉怎么行政概念
	$\sim 11:45$	食肉衛生行政概論   厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課
	- 11.40	
	12:45	食肉の表示について
	$\sim$ 14:10	消費・安全局 消費者行政・食育課 流通過程監視班
		課長補佐 酒井 晃
	14:25	畜産副産物の基礎知識
	$\sim$ 15:35	畜産局 食肉鶏卵課 畜産副産物班 (A. F. B. A.
	15.50	係長 佐久間 弘典
	15:50	生産段階における衛生管理について
	$\sim$ 17:15	消費・安全局 動物衛生課 家畜衛生専門官 千葉 純子
2月6日	8:45	家畜衛生専門官 千葉 純子     食肉の格付け
(金)	$\sim 10:15$	良肉の格当り   公益社団法人日本食肉格付協会
(314)		事務理事 小林 淳二
	10:30	食肉の品質評価
	~12:00	独立行政法人家畜改良センター 企画調整部
		改良技術課長 松本 和典
	12:00	閉講式
	~12:15	

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

3 開催場所(宿泊等の問合せ先)

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1

TEL 0248-25-7060

FAX 0248-25-6755

## 4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体、農協等生産者団体等又は食肉流通の安全・衛生に 係る指導を行う食肉の処理・加工・流通事業者の職員で当該分野に配属されて原則5年 以内の者、農業に従事する者

- 5 受講者数 40名程度
- 6 受講者の留意事項
- (1)受講者は、宿泊等については研修開始10日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊 届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

- (2) 研修施設への入所は、研修初日の9時00分~12時00分までに行うこと。 なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等 への訪問は避けること。
- (3) 受講者は、共済組合員証(健康保険証)、筆記用具、寝間着等を持参すること。

本研修に関する問合せ先 農林水産省畜産局総務課調整班 宮本 TEL 03-6744-0568 (ダイヤルイン)